



連合長崎

Nagasaki Chikyo

# 長崎地協ニュース

新年号・No.83

長崎市桜町9-6  
長崎県勤労福祉会館内  
TEL (095) 827-3500  
FAX (095) 826-8950  
2020年1月1日  
発行 責任者 宮本晃好

## 2020年元旦

# 迎春

## 連合運動の原点を思い起こし、更なる発展をめざそう!



連合長崎地域協議会  
議長 吉次博之

新年明けましておめでとうございます。

連合長崎地協構成組織の組合員の皆様に於かれましては、ご家族お揃いで幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は連合長崎地協の諸活動に対しまして、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、過去に例のない災害の多い年であったと思います。まずは、不幸にして亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。長崎においても、過去多くの災害が発生している中で、今後いつまた大きな自然災害に見舞われるかわかりません。

まずは、自分の身は自分で守ることが最も重要であるので、「だろろうよかろう」ではなく「もしかして、かもしれない」という危機感を持ち、災害に対する備えを行っていただきたいと

思います。

さて、昨年は、自民党政権下の中で十分な議論のないままに、さまざまな重要な案件が進められ、働く者・生活者の立場に立った政策が求められています。

政治活動は、活動方針の大きな柱であります政策制度要求の実現に向けた重要な取り組みであり、「働くことを軸とする安心社会」を目指す上で欠かせないものと考えます。

そのような中、衆議院の解散時期が取り沙汰されている中で、衆議院議員選挙の準備を進めていかなければなりません。大変厳しい戦いが予想されますが、我々の声を地方から国政に反映させるためにも絶対に負けられない戦いであり、連合長崎地協推薦候補者の当選を目指し、引き続き、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

最後に、私たちの願いは、すべての働く者の雇用と生活の安定、更には平和で安心・安全な社会の実現です。

今年も、2020春季生活闘争の勝利、政策制度要求の実現、政治活動の取り組みなど、連合長崎地協の総力を結集し、意義ある活動を行っていききたいと思います。

この一年が、皆様にとって健やかで輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

# 連合地協の政策実現を目指して



連合長崎地協に集う組合員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年の長崎市議会議員選挙では、皆さまからご支援を頂いた推薦議員の当選により、市民クラブとして9名でスタートすることができました。組合員皆さまに心からお礼申し上げます。

さて昨年は、新市庁舎や長崎駅西側の交流拠点施設「出島メッセ長崎」、稲佐山スロープカーなどの建設がスタート。2022年に暫定開業される新幹線長崎ルートの開業を前に100年に一度の大事業と言われる長崎駅周辺の再整備も徐々に姿を現してきました。

一方、公会堂の移転先を含めた県庁跡地の活用や、新幹線長崎ルートフル規格化は、まだまだ出口が見えない状況が続いています。また、長崎経済においても、観光へ依存する割合が年々高くなり、活性化となる起爆剤は見えてきません。

このような中、私たち市民クラブは労働者の声を結集した連合地協の政策を第一に、大型事業はもちろん、福祉や健康、子育てを含めた「住みよいまちづくり」を目指してまいります。

今年一年、組合員皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

長崎市議会・市民クラブ  
代表 野口 達也

## 『2020年度政策制度』要求書を提出

12月25日(水)、連合長崎地協は長崎市議会市民クラブと共に、長崎市役所において13分野23項目にわたる「2020年度政策制度」に関する要求書を田上富久長崎市長に手渡しました。冒頭、吉次議長から、この要求書は、我々働くものをはじめとして、長崎市民の声である。市民の生活向上は労働組合、市民はもちろん、長崎市としても同じ思いだと思うが、働く者をはじめとした市民の安全・安心、生活の向上・安定が優先である。そのような思いを込めた要求書であるので、そのことをご理解のうえ対応をお願いしたいと述べました。

田上市長からは「長崎はまちづくりの上で大事な時期を迎えている。今後長崎のまちづくりを変えていく視点で、まちのかたち・まちを支える仕組み・まちの経済のあり方の3つの分野において自ら変えていく必要がある。特に人口減少の観点からも、若い世代に選んでいただけるまちづくりについて、住居の確保、遊ぶ場所の拡充など取り組みを展開していきたい。また、経済の状況、社会の在り様が大きく変化している中で、長崎が持っている資源を活かしつつ、暮らしやすい街をつくっていくという方向性について共有して共に取り組んでいきたい。」と述べられました。続いて宮本事務局長より、要請書の概要・趣旨について説明しました。働き方改革への対応、道路交通渋滞対策の強化、投票率向上に向けた取り組みなど、個別の要求について提言し、意見交換を行いました。要求書に対する長崎市からの回答は2月下旬の予定です。

